

令和2年度 中国四国産科婦人科学会評議員会議事 (書面開催)

1. 会長挨拶 2. 報告事項

1) 令和元年度会員数および会費納入状況

県名	会員数	会費納入者数	会費納入額 (円)
鳥取	89	82	410,000
島根	90	90	450,000
山口	154	135	675,000
広島	312	276	1,380,000
岡山	288	258	1,290,000
徳島	131	115	575,000
高知	84	72	360,000
愛媛	153	129	645,000
香川	104	99	495,000
計	1,405	1,256	6,280,000

会員数 (免除者を含む, 令和元. 8. 31現在)

会費納入者数 令和2. 6. 30現在

2) 令和2年度会費納入状況 (令和2. 8. 31現在)

県名	会員数	会費納入状況	会費免除者数	県名	会員数	会費納入状況	会費免除者数
鳥取	91	415,000	7	徳島	131	580,000	12
島根	92	460,000	0	高知	87	375,000	12
山口	154	680,000	18	愛媛	157	500,000	25
広島	317	1,360,000	39	香川	104	470,000	6
岡山	285	1,200,000	30	計	1,418	6,040,000	149

会員数 (免除者を含む)

3) 会誌発行状況

令和元年度	第68巻1号	1,600部	75頁	原著12
	第68巻Supplement	1,700部	85頁	演題96
	第68巻2号	1,600部	226頁	原著38
令和2年度	第69巻1号	1,600部	作成中	原著35
	第69巻Supplement		未発行(※)	

※第73回中国四国産科婦人科学会学術講演会の延期に伴う

4) 学会賞応募論文

① 古宇 家正 (広島大学)

Regulation of REG4 Expression and Prediction of 5-Fluorouracil
Sensitivity by CDX2 in Ovarian Mucinous Carcinoma.
Cancer Genomics & Proteomics 2019;16(6), 481-490

5) 令和2年度臨床公募研究

6) その他

3. 協議事項

1) 令和元年度 中国四産科婦人科学会決算書

収入の部

科目	予算額	決算額	増減	備考
1. 会費	6,275,000	6,280,000	5,000	
当年度会費	6,275,000	6,275,000	0	R1年度 @5,000×1,255名
過年度会費	0	5,000	5,000	H30年度 @5,000×1名
2. 機関誌収入	1,790,000	2,231,694	441,694	
刊行協力費	250,000	210,000	△ 40,000	広告費
掲載料	1,500,000	1,984,010	484,010	投稿料・超過別冊代
文献許諾・包括利用使用料 ・許諾抄録利用料	40,000	37,684	△ 2,316	メディカルオンライン・ 医学中央雑誌
3. 学術基金より学術支援費として	1,310,000	1,310,000	0	
4. 利息	10,000	3,394	△ 6,606	
小計	9,385,000	9,825,088	440,088	
5. 前年度繰越金	9,387,288	9,387,288	0	
収入合計	18,772,288	19,212,376	440,088	**

支出の部

科目	予算額	決算額	増減	備考
1. 総会費	2,000,000	2,000,000	0	鳥取大学へ（第72回学会）
2. 機関誌刊行費	5,960,000	5,668,965	△ 291,035	第68巻第1号、第2号
印刷費	3,700,000	3,483,920	△ 216,080	
発送費	350,000	310,748	△ 39,252	
編集協力費	1,000,000	1,000,000	0	
英文校正代	100,000	66,387	△ 33,613	
オンラインシステム 初期設定料	460,000	462,000	2,000	
年間利用料	350,000	345,910	△ 4,090	令和2年度分（サポート料含む）
3. 委員会費	100,000	100,000	0	
4. 学会賞費	0	0	0	
5. 名誉会員表彰	90,000	79,200	△ 10,800	
6. 管理費	1,200,000	1,158,391	△ 41,609	
事務局人件費	1,000,000	1,000,000	0	
通信事務費	100,000	60,014	△ 39,986	郵送代等
消耗品費	100,000	98,377	△ 1,623	文具・コピー代等
7. ホームページ	150,000	88,000	△ 62,000	サーバレンタル料・メンテナンス料
8. 公募研究助成金	300,000	300,000	0	岡山大学へ（光井 崇先生）
9. Plus One産婦人科セミナー	1,000,000	881,240	△ 118,760	鳥取大学へ
小計	10,800,000	10,275,796	△ 524,204	*
予備費	7,972,288	7,972,288	0	△ 7,972,288
次年度繰越金		8,936,580		○
支出合計	18,772,288	19,212,376	440,088	

収入合計 支出合計 次年度繰越金

$$19,212,376 \text{ **} - 10,275,796 \text{ *} = 8,936,580 \text{ ○}$$

中国四産科婦人科学会学術基金 38,690,000

令和元年度決算につき慎重に監査いたしましたところ、正確かつ妥当であることを認めます。

令和2年8月

監事 江尻 孝平 ㊟
金重 恵美子 ㊟

中国四産科婦人科学会

会長 増山 寿 殿

3) 次期及び次々期総会開催の件

1. 昭24 7月	松山	37. 昭59 10月	松江 ⑨	令 2 9月 (延期)
2. 昭24 11月	岡山	38. 昭60 10月	高知 ①	73. 令 3 9月 岡山 ⑧
3. 昭25 11月	丸亀 近畿合同	39. 昭61 10月	宇部 ②	74. 令 4 9月 高知 ①
4. 昭26 11月	広島	40. 昭62 10月	松山 ③	75. 令 5 9月 出雲 ⑩
5. 昭27 11月	下関	41. 昭63 10月	倉敷	76. 令 6 9月 徳島 ⑨
6. 昭28 11月	別府 九州合同	42. 平 1 9月	広島 ④	77. 令 7
7. 昭29 11月	米子	43. 平 2 10月	高松 ⑤	78. 令 8
8. 昭30 11月	徳島	44. 平 3 9月	出雲 ⑨	79. 令 9
9. 昭31 11月	高知	45. 平 4 10月	徳島 ⑧	80. 令10
10. 昭32 11月	岡山 近畿合同	46. 平 5 10月	米子 ⑥	81. 令11
11. 昭33 6月	山口 九州合同	47. 平 6 10月	岡山 ⑦	82. 令12
12. 昭34 11月	奈良 近畿合同	48. 平 7 10月	高知 ①	83. 令13
13. 昭35 11月	松山	49. 平 8 10月	宇部 ②	
14. 昭36 11月	広島	50. 平 9 10月	高松 ⑤	
15. 昭37 11月	高松	51. 平10 10月	広島 ④	
16. 昭38 10月	米子 近畿合同	52. 平11 10月	松山 ③	
17. 昭39 10月	岡山	53. 平12 9月	米子 ⑥	
18. 昭40 10月	徳島 近畿合同	54. 平13 9月	倉敷 ⑦	
19. 昭41 9月	久留米 九州・沖縄合同	55. 平14 9月	高知 (1)	
20. 昭42 10月	高知 ①	56. 平15 9月	出雲 ⑨	
21. 昭43 10月	山口 ②	57. 平16 9月	徳島 ⑧	
22. 昭44 6月	松山 ③	58. 平17 10月	宇部 ②	
23. 昭45 7月	広島 ④	59. 平18 10月	松山 ③	
24. 昭46 7月	高松 ⑤	60. 平19 9月	広島 ④	
25. 昭47 8月	米子 ⑥	61. 平20 9月	高松 ⑤	
26. 昭48 10月	岡山 ⑦	62. 平21 9月	米子 ⑥	
27. 昭49 10月	徳島 ⑧	63. 平22 9月	岡山 ⑦	
28. 昭50 10月	松江 ⑨	64. 平23 9月	徳島 ⑧	
29. 昭51 11月	高知 ①	65. 平24 9月	出雲 ⑩	
30. 昭52 10月	宇部 ②	66. 平25 9月	高知 ①	
31. 昭53 10月	松山 ③	67. 平26 9月	宇部 ②	
32. 昭54 9月	広島 ④	68. 平27 9月	倉敷 ③	
33. 昭55 10月	高松 ⑤	69. 平28 9月	高松 ⑥	
34. 昭56 10月	米子 ⑥	70. 平29 9月	広島 ⑤	
35. 昭57 10月	岡山 ⑦	71. 平30 9月	松山 ④	
36. 昭58 10月	徳島 ⑧	72. 令 1 9月	米子 ⑦	

原則

1. 総会開催順

①高知, ②山口, ③岡山 (川崎医科大学), ④愛媛,
⑤広島, ⑥香川, ⑦鳥取, ⑧岡山 (岡山大), ⑨徳島, ⑩島根

2. 教授未決定等で順番を入れ替える場合は同じ地方の次の開催地と交代する.

- 4) 役員交代について . . . 資料1

- 5) 名誉会員推戴について . . . 資料2

- 6) プロジェクトPlus One 産婦人科セミナー収支報告について . . . 資料3

- 7) 『現代産婦人科』投稿・査読システムのオンライン化に伴う
投稿規定の改訂について . . . 資料4

- 8) 中国四国産科婦人科学会ホームページの改訂について . . . 資料5

- 9) その他


中国四国産科婦人科学会

会長 増山 寿 殿

令和元年度中国四国産科婦人科学会決算につき監査いたしましたところ、正確且つ妥当であることを認めます。

中国四国産科婦人科学会

令和2年 8月17日 監事 江尻孝平 

令和2年 8月22日 監事 金重恵美子 

編集委員

昭和50年度	前田 一雄	藤原 篤	武田 佳彦
昭和51年度	中嶋 晃	藤原 篤	武田 佳彦
昭和52年度	中嶋 晃	小川 重男	武田 佳彦
昭和53年度	中嶋 晃	小川 重男	武田 佳彦
昭和54年度	北尾 学	小川 重男	工藤 尚文
昭和55年度	北尾 学	小川 重男	工藤 尚文
昭和56年度	北尾 学	鳥越 正	工藤 尚文
昭和57年度	田中 良憲	鳥越 正	工藤 尚文
昭和58年度	神保 利春	田中 良憲	工藤 尚文
昭和59年度	神保 利春	田中 良憲	工藤 尚文
昭和60年度	田中 良憲	半藤 保	工藤 尚文
昭和61年度	松浦 俊平	半藤 保	工藤 尚文
昭和62年度	松浦 俊平	相良 祐輔	工藤 尚文
昭和63年度	松浦 俊平	相良 祐輔	工藤 尚文
平成 1年度	青野 敏博	相良 祐輔	工藤 尚文
平成 2年度	青野 敏博	加藤 紘	工藤 尚文
平成 3年度	加藤 紘	河野 一郎	工藤 尚文
平成 4年度	加藤 紘	河野 一郎	工藤 尚文
平成 5年度	大濱 紘三	河野 一郎	江尻 孝平
平成 6年度	大濱 紘三	寺川 直樹	江尻 孝平
平成 7年度	大濱 紘三	寺川 直樹	奥田 博之
平成 8年度	神保 利春	寺川 直樹	奥田 博之
平成 9年度	神保 利春	宮崎 康二	奥田 博之
平成10年度	神保 利春	宮崎 康二	奥田 博之
平成11年度	伊藤 昌春	宮崎 康二	奥田 博之
平成12年度	伊藤 昌春	秦 利之	平松 祐司
平成13年度	伊藤 昌春	秦 利之	平松 祐司
平成14年度	深谷 孝夫	秦 利之	平松 祐司
平成15年度	深谷 孝夫	苛原 稔	平松 祐司
平成16年度	深谷 孝夫	苛原 稔	児玉 順一
平成17年度	杉野 法広	苛原 稔	児玉 順一
平成18年度	杉野 法広	工藤 美樹	児玉 順一
平成19年度	寺川 直樹	工藤 美樹	児玉 順一
平成20年度	寺川 直樹	工藤 美樹	児玉 順一
平成21年度	宮崎 康二	下屋浩一郎	児玉 順一
平成22年度	宮崎 康二	下屋浩一郎	児玉 順一
平成23年度	宮崎 康二	下屋浩一郎	児玉 順一
平成24年度	原田 省	那波 明宏	児玉 順一
平成25年度	原田 省	那波 明宏	鎌田 泰彦
平成26年度	原田 省	那波 明宏	鎌田 泰彦
平成27年度	秦 利之	前田 長正	鎌田 泰彦
平成28年度	秦 利之	前田 長正	鎌田 泰彦
平成29年度	秦 利之	前田 長正	鎌田 泰彦
平成30年度	苛原 稔	杉野 法広	鎌田 泰彦
令和 1年度	苛原 稔	杉野 法広	鎌田 泰彦
令和 2年度	苛原 稔	杉野 法広	鎌田 泰彦
令和 3年案			

中国四国産科婦人科学会

役員及び委員会 (2019年9月23日～2020年9月20日)

会 長	増 山 寿 (岡山)			
理 事	苛 原 稔 (徳島)	金 西 賢 治 (香川)	京 哲 (島根)	
	工 藤 美 樹 (広島)	下 屋 浩一郎 (岡山)	杉 野 法 広 (山口)	
	杉 山 隆 (愛媛)	原 田 省 (鳥取)	前 田 長 正 (高知)	
	増 山 寿 (岡山)			
監 事	金 重 恵美子 (岡山)	江 尻 孝 平 (岡山)		
幹 事	早 田 桂 (岡山)	鎌 田 泰 彦 (岡山)		

委員会委員名

運営委員会	委員長 増 山 寿 (岡山)			
(副)	原 田 省 (鳥取)	前 田 長 正 (高知)		
	早 田 桂 (岡山)	谷 口 佳 代 (高知)		
学術委員会	委員長 増 山 寿 (岡山)			
	苛 原 稔 (徳島)	金 西 賢 治 (香川)	京 哲 (島根)	
	工 藤 美 樹 (広島)	下 屋 浩一郎 (岡山)	杉 野 法 広 (山口)	
	杉 山 隆 (愛媛)	原 田 省 (鳥取)	前 田 長 正 (高知)	
	増 山 寿 (岡山)			
財務委員会	委員長 増 山 寿 (岡山)			
	池 谷 東 彦 (愛媛)	岩 部 富 夫 (鳥取)	江 尻 孝 平 (岡山)	
	金 崎 春 彦 (島根)	坂 本 康 紀 (高知)	沼 文 隆 (山口)	
	藤 田 卓 男 (香川)	三 好 博 史 (広島)	安 井 敏 之 (徳島)	
編集委員会	委員長 増 山 寿 (岡山)			
	苛 原 稔 (徳島)	杉 野 法 広 (山口)	鎌 田 泰 彦 (岡山)	

中国四国産科婦人科学会

評 議 員 (2019年9月23日～2020年9月20日)

(鳥取)	伊藤隆志	岩部富夫	谷口文紀		
(島根)	金崎春彦	栗岡裕子	中山健太郎		
(岡山)	鎌田泰彦	中塚幹也	中村圭一郎	長谷川雅明	
(広島)	伊達健二郎	土谷治子	中西慶喜	平田英司	
	三好博史	村上朋弘	山本 暖		
(山口)	竹谷俊明	田村博史	沼 文隆	藤野俊夫	
(徳島)	春名 充	前川正彦	安井敏之		
(香川)	田中宏和	花岡有為子	藤田卓男		
(愛媛)	近藤裕司	矢野浩史	横山幹文		
(高知)	谷口佳代	濱脇弘暉	林 和俊		

中国四国産科婦人科学会

名 誉 会 員

(鳥取)	長田昭夫	前田一雄	寺川直樹		
(島根)	北尾 学	宮崎康二	小村明弘		
(岡山)	工藤尚文	河野一郎	近藤和二	堀章一郎	
	本郷基弘	平野隆茂	武田佳彦	奥田博之	
	平松祐司				
(広島)	大濱紘三	小林哲郎	土光文夫	絹谷一雄	
	平林光司	占部 武	吉田信隆	勝部泰裕	
	内藤博之				
(山口)	加藤 紘	中川 清	西村博通	伊東武久	
(徳島)	青野敏博	奈賀 脩	吉本忠弘	鎌田正晴	
	三谷 弘	中山孝善			
(香川)	猪原照夫	神保利春	半藤 保	沼本 明	
	原 量宏	樋口和彦	秦 利之		
(愛媛)	福井敬三	池谷東彦			
(高知)	相良祐輔	深谷孝夫			

名誉会員候補者推薦書

中国四国産科婦人科学会

会長 増山 寿 殿

令和2年8月20日

下記の者を中国四国産科婦人科学会の名誉会員候補として推薦します。

候補者氏名：上田 克憲（うえだ かつのり） 先生

67歳 （昭和28年6月4日生）

住所：広島市南区東雲本町二丁目12-18 1303

所属：日本産科婦人科学会 功労会員

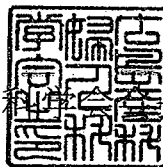
広島産科婦人科学会 副会長

推薦理由：

上記会員は広島大学医学部附属病院産婦人科の講師、広島大学医学部附属病院周産母子センターの助教授を勤め、その後に県立広島病院産科の主任部長を20年間勤めた。日本産科婦人科学会代議員を4期8年、広島産科婦人科学会常務理事・副会長、中国四国産科婦人科学会評議員等をそれぞれ歴任し、産科婦人科学ならびに産科婦人科医療の発展に多大な貢献をした。

推薦者氏名

広島産科婦人科学会会長



工藤 美樹



履 歴 書

令和 2 年 8 月 18 日

氏 名：上田 克憲（うえだ かつのり）

生年月日：1953 年 6 月 4 日生

現住所：〒734-0023

広島市南区東雲本町二丁目 12-18 1303

T E L：082-890-1215

F A X：082-890-1215

学 歴：昭和 47 年 4 月 広島大学医学部・医学科 入学

昭和 53 年 3 月 同上 卒業

職 歴：昭和 53 年 6 月 広島大学医学部附属病院産婦人科 医員（研修
医）

昭和 60 年 3 月 同上 助手

平成 6 年 4 月 同上 講師

平成 9 年 4 月 広島大学医学部附属病院周産母子センター助教授

平成 11 年 4 月 県立広島病院産科 主任部長

平成 31 年 3 月 同上 定年退職

学会活動：日本産科婦人科学会 功労会員

広島産科婦人科学会 副会長

賞 罰：昭和 61 年度 中国四国産科婦人科学会学会賞（八木賞）

「部分胞状奇胎に関する細胞遺伝学的、形態学的ならびに
臨床的研究」

以上

名誉会員候補者推薦書

中国四国産科婦人科学会

会長 増山 寿 殿

令和 2 年 8 月 26 日

下記の者を中国四国産科婦人科学会の名誉会員候補として推薦します。

候補者氏名：濱脇 弘暉先生 83 歳 （昭和 12 年 3 月 23 日生）

住所：高知県高知市上町 3 丁目 3-12

所属：日本産科婦人科学会

推薦理由

濱脇弘暉会員は、平成 15 年度より現在に至るまで、中国四国産科婦人科学会評議員として中国四国産科婦人科学会の発展に寄与するとともに、本会の運営に携わっております。中国四国産科婦人科学会における各種委員も歴任し、中国四国産科婦人科学会会員の学術・研修・教育に尽力され学会に大きく貢献されております。

また、日本産科婦人科学会代議員（平成 19 年～令和 2 年）を務められるほか、地方学会における貢献も大なるものがあり、高知県医師会常任理事（平成 6 年～平成 20 年）高知県産婦人科医会会長（平成 15 年～令和 1 年）、中国四国産科婦人科学会評議員（平成 15 年～令和 1 年）、四国産科婦人科学会評議員（平成 15 年～令和 2 年）などを歴任し、その発展に大きく寄与されております。

濱脇弘暉会員は産科婦人科領域を基盤として、多くの表彰を受けられています。地方自治等功労者高知県知事表彰（保健衛生関係）（平成 11 年）、厚生大臣表彰（母子保健家族計画事業功労者）（平成 18 年）、秋の叙勲・旭日双光章（平成 26 年）を表彰されています。これらの表彰は、中国四国産科婦人科学会に属する私共後進の医学・医療人としての発展に大きく鼓舞、貢献されたものと考えております。

濱脇弘暉会員の長年にわたる中国四国産科婦人科学会の発展に対するこれらの貢献ならびにその業績を鑑みますと、中国四国産科婦人科学会名誉会員に相応しいと考え、ここに濱脇弘暉会員を名誉会員として推薦申し上げる次第であります。

ご高配を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

推薦者氏名 高知産科婦人科学会
会長 前田長正



履歴書

氏名 濱脇 弘暉 (はまわき ひろき)
 生年月日 昭和12年(1937年)3月23日
 本籍地 高知県高知市上町3丁目53番地
 現住所 高知県高知市上町3丁目3-12

学歴・履歴

昭和30年3月 高知県立追手前高等学校卒業
 昭和31年4月 神戸大学理学部教養課程入学
 昭和33年3月 神戸大学理学部教養課程修了
 昭和33年4月 大阪医科大学入学
 昭和37年3月 大阪医科大学卒業
 昭和37年4月 大阪医科大学大学院入学
 昭和39年5月 医師国家試験合格
 医師免許・医籍 184559

昭和41年3月 大阪医科大学大学院卒業、医学博士授与
 大阪医科大学産科婦人科学教室助手

昭和43年7月 済生会兵庫県病院・産婦人科部長勤務
 昭和44年4月 済生会兵庫県病院退職
 昭和44年4月 高知市立市民病院・産婦人科科長勤務
 昭和46年3月 高知市立市民病院退職
 昭和46年7月 父籍継承、浜脇産婦人科・院長
 平成14年11月 浜脇産婦人科廃業、浜脇レディースクリニック院長、
 高知検診クリニック顧問
 平成17年5月 浜脇レディースクリニック閉院

役職

昭和55年4月～平成6年3月 高知県医師会広報委員
 昭和61年4月～平成15年5月 日本母性保護産婦人科
 医会高知県支部理事

平成6年4月～平成20年3月 高知県医師会常任理事
 平成15年4月～令和2年1月 日本産科婦人科学会 代議員
 平成15年6月～令和1年5月 高知県産婦人科医会会長

表彰

平成 11 年 11 月 地方自治等功労者高知県知事表彰
(保健衛生関係)

平成 18 年 11 月 厚生労働大臣表彰
(母子保健家族計画事業功労者)

平成 26 年 10 月 秋の叙勲・旭日双光章・受賞

以上

プロジェクト PlusOne 産婦人科セミナー開催報告書

中国四国産科婦人科学会
事務局 殿

この度、下記の通り PlusOne 産婦人科セミナーを開催いたしましたので報告いたします。
学会からのご支援を賜りますようお願いいたします。

- 開催責任者 : 原田 省 (鳥取大学医学部産科婦人科学教室 教授)
- 企画責任者 : 原田 崇 (鳥取大学医学部産科婦人科学教室 講師)
- 開催日時 : 2019年9月21日(土) 14:30-16:30
- 会場 : 米子コンベンションセンター
- セミナー内容 : PlusOne セミナー1 : ミニシンポジウム
「我々産婦人科医に未来はあるのか、いや未来しかない」
座長 鳥取大学医学部産科婦人科 佐藤慎也
山口大学医学部産科婦人科 竹谷俊明
演者 大阪大学医学部産科婦人科 中川 慧
東京大学医学部産科婦人科 園田正樹
鳥取大学医学部産科婦人科 小松宏彰

PlusOne セミナー2 : ワークショップ

- 「変化する社会を楽しむために～未来ビジョン、つくりませんか～」
- 司会 慶應義塾大学産科婦人科 的場 優介
- 講師 日本ヘルスサイエンスセンター 石川 雄一

受講者 36名 : 初期研修医 6名、後期研修医 14名を含む

○支出：881,240 円 (PlusOne セミナー1、PlusOne セミナー2)

PlusOne セミナー1： ミニシンポジウム

機材費	0 円
備品費	0 円
講師交通費(飛行機往復 1 名、JR 往復 1 名)	83,080 円
講師宿泊費(2 名、2 泊)	64,000 円
合 計	147,080 円

PlusOne セミナー2： ワークショップ

人件費	59,400 円
機材費	194,400 円
講師謝金	300,000 円
講師交通費(飛行機往復 2 名)	116,360 円
講師宿泊費(2 名、2 泊)	64,000 円
合 計	734,160 円

○開催事務局

鳥取大学医学部 産科婦人科学教室

TEL: 0859-38-6647, FAX: 0859-38-6649, E-Mail: obgy@med.tottori-u.ac.jp

○振込先

- ・口座名 第 72 回中国四国産科婦人科学会 会長 原田 省
(ダイ 72 カイチュウゴクシコクサンカフジンカガツカイ カイチョウ ハラダタスク)
- ・銀行名 山陰合同銀行
- ・支店名 米子支店
- ・口座の種類 普通貯金
- ・口座番号 3848828

■名称について

中国四国産科婦人科学会機関誌は「現代産婦人科」。英文名はModern Trends in Obstetrics & Gynecology, 略号はMod Trends Obstet Gynecolとする。

■投稿について

1. 本誌に投稿するものは、共著者を含め原則として本会の会員に限る。非会員の（他科）医師名を掲載する場合は、単年度会費を事務局に納入する。学生、初期研修医名を掲載する場合はこの限りでなく、単年度会費を徴収しない。
2. 本誌は年3回発刊し、第1号の切日は6月30日、第2号の切日は12月25日とする。なお、Supplementは学会抄録集とする。
3. 本誌に投稿した論文の著作権は中国四国産科婦人科学会に所属する。
4. 論文の種類は原著、症例報告とする。総説、診療指針、内外文献紹介、学会関連記事、座談会記事等は編集委員会が承認したもの、あるいは依頼したものとする。
5. 論文は他紙に未発表のもので、それ自身で完結してなければならない。続報形式のものは認めない。
6. 論文は和文とし、欧文は受け付けない。ただし、図表はこの限りでない。
7. (第68巻第2号まで)
オリジナル原稿1部、コピー（図表も含む）3部、保存CD、およびチェックリストを提出する。CDには筆頭著者名、使用コンピュータ（Windows, Macintosh）、使用ソフト名を記載する。なお提出された原稿およびCDは返却しない。
(第69巻第1号以降)
投稿の方法は電子投稿に限る。オンライン投稿・査読システム（HPアドレス [準備中]）にアクセスし、必須事項を入力の上、表示される指示に従って投稿すること。

7. 投稿の方法は電子投稿に限る。オンライン投稿・査読システム（<https://mc.manuscriptcentral.com/mtog>）にアクセスし、必須事項を入力の上、表示される指示に従って投稿すること。

8. 本誌は査読制を敷く。原稿の採否は査読者の意見を参考にして、編集委員長が決定し、事務局から通知する。編集方針に従って、原稿の加筆、修正をお願いすることができる。

9. 採録された論文は順次掲載される。掲載料は組上り6頁（概要、本文、図表、写真、文献を含む）までは、1万円とする。6頁を越える部分の印刷に要する費用、カラー印刷にかかる費用は著者に別途請求する。

10. 別冊30部は無料とする。30部を越える別冊については送料を含め全額著者負担とする。これらの費用は論文が掲載された時点で徴収する。

■論文の書き方

1. 原稿の長さは文献、図表も含め8,000字以内とする。なお表題、概要、英文抄録は字数に含めない。図表は1点400字で換算する。

その他の原稿の長さは編集委員会の指示に従う。

2. 文字原稿の作成は、A4版横書きで、Microsoft Wordを使用すること。査読のため各頁下に頁数、各頁左端に行番号を付けること。

3. 論文の記述の順序は、

1頁目：表題、所属、所屬、著者名（それぞれ英文も併記）、筆頭著者の連絡先（所属施設、住所、電話、FAX番号、メールアドレス）

2頁目：概要（800字以内）とキーワード（日本語5つ以内、英語5つ以内）

3頁目：英文抄録200単語以内（double spaceで入力のこと）

4頁目以降に【原著論文】緒言、方法、成績、考案、文献、図表の順に、【症例報告】緒言、症例、考案、文献、図表の順に記載する。論文中には図表の引用箇所を明示する。

8. 本誌は査読制を敷く。原稿の採否は査読者の意見を参考にして、編集委員長が決定し、事務局から通知する。編集方針に従って、原稿の加筆、修正をお願いすることができる。採録決定日以降に、論文の「掲載予定証明書」を編集委員長が発行することができる。

9. 採録（受理）された論文は順次掲載される。掲載料は組上り6頁（概要、本文、図表、写真、文献を含む）までは、1万円とする。6頁を越える部分の印刷に要する費用、カラー印刷にかかる費用は著者に別途請求する。

3. 本文の記述の順序は、

1頁目：表題、所属、所屬、著者名（それぞれ英文も併記）、筆頭著者の連絡先（筆頭著者の氏名、メールアドレス、所属施設の名称、住所、電話、FAX番号、メールアドレス）

2頁目：概要（800字以内）とキーワード（日本語5つ以内、英語5つ以内）

3頁目：英文抄録200単語以内（double spaceで入力のこと）

4頁目以降に【原著論文】緒言、方法、成績、考案、文献、図表の順に、【症例報告】緒言、症例、考案、文献、図表の順に記載する。本文中には図表の引用箇所を明示する。

4. 図表はMicrosoft Excel, Power Pointを用いて作成し, 1枚ずつに分けて番号を付ける。タイトルおよび説明文を記載すること。光顕写真には撮影倍率もしくはスケールを入れること。なお学会発表にもスケールを入れること。光顕写真には撮影倍率もしくはスケールを入れること。なお学会発表にもスケールを入れること。光顕写真には撮影倍率もしくはスケールを入れること。なお学会発表にもスケールを入れること。なお学会発表にもスケールを入れること。また、他雑誌からの図表を引用する場合は、著者の責任で使用許諾をとっておくこと。

5. 単位, 記号はm, cm, mm, g, mg, μ g, l, ml, $^{\circ}$ C, pH, N, M, Ci, mCi, μ Ciなどとする。

6. 英語のつづりは米国式とする (例: center, estrogen, gynecology)。

外国の人名, 地名は原語のまま記載する。

7. 学術用語は日本産科婦人科学科用語集および日本医学会の用語集に従う。

8. 投稿にあたり, 個人情報取扱いは「個人情報保護法」を遵守すること。特に遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う症例の報告では, 「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」(文部科学省・厚生労働省・経済産業省, 平成20年12月1日改正)を遵守すること。なお症例について記載する時は, プライバシー保護の観点から, 必要最小限の情報のみを記載する(来院日や手術日などの具体的な記載はせず, 第3病日, X+3年後といった記述にする。摘出標本, 病理組織, 画像の中に含まれる日時, 個人を特定できる番号などは削除する)。また, 対象となる個人からは同意を得ておくことが望ましい。

9. 臨床研究や治療に関する論文, ガイドラインに記載されていない診療方針を含む症例報告は, インフォームド・コンセントを得た旨および所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会の承認を得た旨を記載すること。なお, 編集委員会よりその証明を請求する場合がある。

■利益相反について

1. 論文について開示すべき利益相反状態があるときは, 投稿時にその内容を明記する。利益相反状態の有無の基準は, 日本産科婦人科学会の「利益相反に関する指針」運用細則による。

4. 図表はMicrosoft Word, Excel, Power Pointを用いて作成し, 1枚ずつに分けて番号を付ける。タイトルおよび説明文は本文の文献の後にまとめて記載すること。光顕写真には撮影倍率もしくはスケールを入れること。なお学会発表にもスケールを入れること。光顕写真には撮影倍率もしくはスケールを入れること。なお学会発表にもスケールを入れること。また、他雑誌からの図表を引用する場合は、著者の責任で使用許諾をとっておくこと。

2. 特定の医薬品・医療機器の使用経験などに関する論文の場合には、利益相反に関する記載が必要である。

■文献記載について

1. 文献の引用は論文に直接関係あるものとどめ、文献番号は本文に現れた順に1, 2, 3…と付ける。

2. 本文中では引用部位の右肩に文献番号^{1) 2)}をつける。なお著者名を記載する場合、2名以上の際には「山川ら」(和文)、「Harris et al.」(英文)と略す。

3. 文献は著者名全員と論文の表題を入れ、次のように正確に記載する。和文誌の雑誌名は医学中央雑誌収集誌目録略名表(医学中央雑誌刊行会編)に、欧文誌はIndex Medicusによる。

例【学術雑誌】著者名(全員)．表題．雑誌名 発行年(西暦)；巻：頁-頁．
新井太郎，谷村二郎．月経異常の臨床的研究．日産婦誌 1976；28：865-871．
Langer O, Berkus MD, Huff RW, Samueloff A. Shoulder dystocia should the fetus weighing greater than or equal to 4000 grams be delivered by cesarean section? Am J Obstet Gynecol 1991；165：831-837．

例【書籍(一般)】著者名[, 編者名]．書名[, 版数]．発行地：発行所，発行年(西暦)；[；引用頁-頁]．

遠藤幸三．実地婦人科手術 改訂第2版．東京：金原出版，1982．

Rock JA, Thompson JD (eds) Telende's Operative Gynecology, 8th edn. Philadelphia: Lippincott-Raven, 1996.

例【書籍(分担執筆)】著者名．表題．編者名．書名[, 版数]．発行地：発行所，発行年(西暦)；引用頁-頁．

岡本三郎．子宮頸癌の手術．塚本 治編．現代産婦人科学II．東京：神田書店，1975；162-180．

Hoffman MS, Cavanagh D. Malignancies of the vulva. In: Thompson JD and

Rock JA (eds) TeLinde's Operative Gynecology, 8th edn. Philadelphia:

Lippincott Williams & Wilkins, 1997；1331-1384.

例【ウェブサイト(Website)】著者名・表題・ウェブサイト名・発表年(西暦)、ウェブサイトのURL。[確認した日付]

政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室・人口動態調査。厚生労働省。2019, <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>。[2019.09.01.]

Committee on Publication Ethics. What to do if you suspect plagiarism: (a)

Suspected plagiarism in a submitted manuscript. Available at:

<https://publicationethics.org/files/plagiarism%20A.pdf>. [2019.09.01]

■査読・校正について

(第68巻第2号まで)

1. 編集委員会からの査読結果、意見を筆頭著者にメールで返信する。
2. 投稿者は編集委員会の意見に対し、①どのように修正したかの回答書、②修正部を赤字あるいは下線で明記した修正原稿のプリントアウト、③それらを保存したCDを事務局に指定期限以内に再提出する。

(第69巻第1号以降)

1. 編集委員会からの査読結果に対して、筆頭著者はオンライン投稿・査読システム上で回答する。
2. 著者は編集委員会の意見に対し、①どのように修正したかの回答書、②修正部を赤字あるいは下線で明記した修正原稿を指定期限以内に再提出する。
3. 掲載論文は初校のみ著者校正とする。ただし組版面積に影響を与えるような変更や極端な組み替えは許されない。
4. 英文表題および抄録は、事務局で一括してネイティブチェックを依頼し、初校の際に著者が校正する。ネイティブチェックの費用は著者に別途請求する。ただし著者が独自にネイティブチェックを依頼することを妨げないので申し出ること。

■罰則規定について

1. 編集委員会からの査読結果、意見に対して、筆頭著者はオンライン投稿・査読システム上で返答する。

2. 著者は編集委員会からの査読結果、意見に対し、①どこをどのように修正したかの回答書、②修正部をハイライト表示(もしくは赤字と下線で表示)した修正原稿を指定期限以内に再提出する。

3. 期日を経て、編集委員会に何の連絡もない場合には、投稿を辞退したものと見なす。

1. 本誌はねつ造、二重投稿、剽窃・盗用などの不正行為を禁止する。発覚した場合は、採録を取消し、筆頭著者・共著者は、その後3年間投稿禁止とする。

■転載許諾について

1. 本誌に掲載された図表の、他誌への転載を希望する場合には、別紙の「転載許諾のお願い」に記載し、切手を貼付した返信用封筒を同封の上、当編集委員会事務局宛に郵送する。なお「転載許諾のお願い」の書式は、中国四国産科婦人科学会のホームページからもダウンロード可能である。
2. 転載の可否は、編集委員長が決定する。承諾の場合には、転載許諾印を押し返却する。
3. 転載の際には、掲載を予定する書籍にその出典を明示する必要がある。

■原稿送付先・お問い合わせ

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学医学部産科・婦人科学教室内
「現代産婦人科」編集委員会事務局
Tel 086-235-7320 Fax 086-225-9570
e-mail obgyn@cc.okayama-u.ac.jp

編集委員会

編集委員長：増山 寿

編集委員：苛原 稔、杉野法広、鎌田泰彦

編集委員会

編集委員長：増山 寿

編集委員：苛原 稔、杉野法広、鎌田泰彦

御見積書

2020年8月6日

中国四国産科婦人科学会 御中

以下のとおり御見積申し上げます

御見積金額

¥ 132,000.-

納入期日：

納入場所：

見積有効期限：上記発行日より3ヵ月以内

友野印刷株式会社

代表取締役 友野 宏

本 社 〒700-0035 岡山市北区高柳西町1-23
 TEL : 086-255-1101 FAX : 086-253-2965
 大阪営業所 〒534-0024
 大阪市都島区東野田町2-8-14中島ビル4F
 TEL : 06-6353-6977 FAX : 06-6353-6181

担当：渡部 恭久 No. 200806303101

品 名	規 格	数 量	単 位	単 価	合 計	消 費 税
現代産婦人科 投稿論文PDF 掲載ページ制作費						
企画・ディレクション費用		1	式		24,000	2,400
サイトデザイン						
メニュー変更		1	式		24,000	2,400
論文掲載(仮称)ページ作成(パソコン)		1	式		12,000	1,200
コーディング						
メニュー変更コーディング		1	式		36,000	3,600
論文掲載(仮称)ページコーディング(パソコン)		1	式		24,000	2,400
摘要				小 計	120,000	12,000
説明イラスト、図表制作、著作権フリー画像購入、撮影等は別途となります。 コンテンツのテキスト原稿ご支給ください。				立替金計		
				合 計	¥132,000	

御見積書

2020年 8 月 6 日

中国四国産科婦人科学会 御中

以下のとおり御見積申し上げます

御見積金額
¥ 736,560.-

納入期日 : _____

納入場所 : _____

見積有効期限 : 上記発行日より3ヵ月以内

友野印務株式会社

代表取締役 宏

本 社 〒700-0035 岡山市北区高柳西町1-23
 TEL : 086-255-1101 FAX : 086-253-2965
 大阪営業所 〒534-0024

大阪市都島区東野田町2-8-14中島ビル4F
 TEL : 06-6353-6977 FAX : 06-6353-6181

担当 : 渡部 恭久 No. 200806303102

品 名	規 格	数 量	単 位	単 価	合 計	消 費 税
中四国産科婦人科学会HPリニューアル(PCのみ)						
企画・ディレクション費用		1	式		60,000	6,000
サイトデザイン						
トップページ(パソコン)		1	頁		36,000	3,600
コンテンツページ(パソコン)		28	頁	9,600.00	268,800	26,880
コーディング						
トップ、基本コーディング		1	頁		36,000	3,600
下層ページコーディング		28	頁	9,600.00	268,800	26,880
摘要				小 計	669,600	66,960
説明イラスト、図表制作、著作権フリー画像購入、撮影等は別途となります。 コンテンツのテキスト原稿ご支給ください。				立替金計		
				合 計	¥736,560	

御見積書

2020年 8 月 6 日

中国四国産科婦人科学会 御中

以下のとおり御見積申し上げます

御見積金額

¥ 1,119,360.-

納入期日：

納入場所：

見積有効期限：上記発行日より3ヵ月以内

友野印刷株式会社

代表取締役 友野 宏

本社 〒700-0035 岡山市北区高柳西町1-23
TEL : 086-255-1101 FAX : 086-253-2965

大阪営業所 〒534-0024
大阪市都島区東野田町2-8-14中島ビル4F
TEL : 06-6353-6977 FAX : 06-6353-6181

担当：渡部 恭久 No. 200806303103

品名	規格	数量	単位	単価	合計	消費税
中四国産科婦人科学会HPリニューアル(スマホ対応)						
企画・ディレクション費用		1	式		60,000	6,000
サイトデザイン						
トップページ(パソコン)		1	頁		36,000	3,600
コンテンツページ(パソコン)		28	頁	9,600.00	268,800	26,880
トップページ(スマホ)		1	頁		12,000	1,200
コンテンツページ(スマホ)		28	頁	6,000.00	168,000	16,800
コーディング						
トップ、基本コーディング		1	頁		36,000	3,600
下層ページコーディング		28	頁	9,600.00	268,800	26,880
レスポンス対応(スマホ対応)		28	頁	6,000.00	168,000	16,800
摘要				小計	1,017,600	101,760
説明イラスト、図表制作、著作権フリー画像購入、撮影等は別途となります。コンテンツのテキスト原稿ご支給ください。				立替金計		
				合計	¥1,119,360	

概要

役員名・委員会

開催地のご案内

入会案内

機関紙バックナンバー

機関紙バックナンバー

HOME > 機関紙バックナンバー

現代産婦人科
投稿規程



中四公募
臨床研究募集

過去の学会開催地・
学会賞受賞者



論文掲載

- 2020年 vol.69 no.1

現代産婦人科バックナンバー

号数	容量	DL
 vol.68 no.2	39,833KB	
 vol.68 no.1	29,603KB	
 vol.68 Supplement	7,337KB	
 vol.67 no.2	37,231KB	

概要

役員名・委員会

開催地のご案内

入会案内

機関紙バックナンバー

機関紙バックナンバー

HOME > 機関紙バックナンバー > 2020年 vol.69 no.1

現代産婦人科
投稿規程



過去の学会開催地・
学会賞受賞者

2020年 vol.69 no.1

ループ式電気焼灼切除術による子宮頸部円錐切除術に関する後方視的検討

松坂 直, 森下 紀, 藤田 浩平, 廣瀬 雅哉

前治療レジメン数の多いプラチナ製剤抵抗性再発卵巣癌症例に対するペバシズマブ併用単剤化学療法の治療経験

高折 彩, 村上 隆介, 河原 俊介, 堀川 直城, 千草 義経, 安彦 郁, 濱西 潤三, 万代 昌紀

腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術を施行し術後に小細胞神経内分泌癌の診断に至った1例
江本 郁子, 安彦 郁, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 宇治田 麻里, 天野 泰彰, 高尾 由美

MRI検査で診断したposterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) 妊産婦8例の検討

西端 修平, 吉田 彩, 副島 周子, 安原 由貴, 神谷 亮雄, 黒田 優美, 通 あゆみ, 岡田 英孝

ループ式電気焼灼切除術による子宮頸部円錐切除術に関する後方視的検討

松坂 直, 森下 紀, 藤田 浩平, 廣瀬 雅哉

前治療レジメン数の多いプラチナ製剤抵抗性再発卵巣癌症例に対するペバシズマブ併用単剤化学療法の治療経験

高折 彩, 村上 隆介, 河原 俊介, 堀川 直城, 千草 義経, 安彦 郁, 濱西 潤三, 万代 昌紀

腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術を施行し術後に小細胞神経内分泌癌の診断に至った1例
江本 郁子, 安彦 郁, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 宇治田 麻里, 天野 泰彰, 高尾 由美

MRI検査で診断したposterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) 妊産婦8例の検討

西端 修平, 吉田 彩, 副島 周子, 安原 由貴, 神谷 亮雄, 黒田 優美, 通 あゆみ, 岡田 英孝

ループ式電気焼灼切除術による子宮頸部円錐切除術に関する後方視的検討

松坂 直, 森下 紀, 藤田 浩平, 廣瀬 雅哉

前治療レジメン数の多いプラチナ製剤抵抗性再発卵巣癌症例に対するペバシズマブ併用単剤化学療法の治療経験

高折 彩, 村上 隆介, 河原 俊介, 堀川 直城, 千草 義経, 安彦 郁, 濱西 潤三, 万代 昌紀

腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術を施行し術後に小細胞神経内分泌癌の診断に至った1例
江本 郁子, 安彦 郁, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 宇治田 麻里, 天野 泰彰, 高尾 由美

MRI検査で診断したposterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) 妊産婦8例の検討

西端 修平, 吉田 彩, 副島 周子, 安原 由貴, 神谷 亮雄, 黒田 優美, 通 あゆみ, 岡田 英孝

[ホーム](#) | [最新情報・特集](#) | [文献](#) | [電子書籍](#) | [くすり](#) | [プロダクト](#) | [医学書販売](#)
ライブラリサービス | 医薬品検索 | 医療機器・薬事サービス検索 | メディカルブックセンター

[キーワード検索](#) | [分野で探す](#) | [タイトルで探す](#) | [分野で探す](#) | [ガイドライン](#)

ホーム > 文献 > バックナンバー

文献を検索 ▶

search by Viviamo University

バックナンバー：産婦人科の進歩

発行元：近畿産科婦人科学会
 ISSN：0370-8446
 ISSN (オンライン)：1347-6742

- ▶ 投稿規程
- ▶ バックナンバーリスト
- ▶ 分野別リスト

特集：小児の救急・搬送医療 『小児内科 Vol.51 2019年増刊号』
www.molcom.jp (メテオ・メディカルブックセンター)

産婦人科の進歩
 72巻 3号
※特定の雑誌を番号まとめて大量にダウンロードすることは禁止しております。

当科で経験した骨盤内炎症性疾患31例の後方視的検討

宇田元, 増原亮治, 本多秀峰, 山本幸代, 北井俊大, 磯部晶, 榎永敏克
 兵庫県立西宮病院産婦人科
 産婦人科の進歩 72(3): 193-198, 2020.

Edinburgh Postnatal Depression Scaleを用いた生殖補助医療妊娠と自然妊娠の産後うつ状態の比較と関連性の評価

大坪昌弘1), 山出一郎1), 須藤慎介1), 濱田啓義1), 井上卓也1), 眞田佐知子2), 中山真弘2), 畑山博1)
 1)医療法人財団今井会足立病院産婦人科, 2)生殖内分泌医療センター
 産婦人科の進歩 72(3): 199-204, 2020.

当院で子宮頸部上皮内腫瘍 (CIN2) と判断・管理した症例の臨床的検討

西田秀隆, 中村光佐子, 古板規子, 山西歩
 京都長医連中央病院産婦人科
 産婦人科の進歩 72(3): 205-210, 2020.

ようこそ 岡山大学 へ

ID : IP認証
 会員種別 : 法人会員
 プラン種別 : フリーアクセスプラン
[料金を見る]

[MYページとは?]

大日本住友製薬

知っておきたい
レビー小体型認知症のこと

Medical'Online Products Episoda
プロダクトエピソード
 医療機器のインタビュー記事を配信中心!



近畿産科婦人科学会

The Obstetrical Gynecological Society of Kinki District Japan

学会について

学術集会・研究部会

学会誌

論文投稿

J-STAGE

Medical Online

広告募集

学会賞

関連団体

お問い合わせ

〒606-8305
京都市左京区吉田河原町14
近畿地方発明センタービル8
TEL: 075-751-6354
FAX: 075-771-1510
Email: kinsanpu@chijin.co.jp

学会誌 > Medical Online

○「Medical Online」(株)メテオインターゲート

Medical Online

掲載内容	<p><15 巻 1 号~66巻3号まで (一部脱落あり) > 原著論文、臨床研究論文、総説、症例報告論文、診療論文、学術集会抄録 (一般演題) <66巻3号以降> 原著 (臨床研究・基礎研究)、症例報告、総説、学術集会抄録 (一般演題)</p>
掲載画面	目次一覧、抄録、全文閲覧用 PDF
公開日	刊行月の翌月予定
費用	1論文ダウンロード 660 円 (税込)、その他はホームページ参照
閲覧	<p>会員登録必要 (入会無料) アドレス http://www.medicalonline.jp/ 会員登録 上記ホームページより登録 総合問合せ info@medicalonline.jp 料金窓口 fee@medicalonline.jp</p>



To continue to protect women's health

女性の健康を守り続けるために



Pickup

ピックアップ情報

第73回中国四国産科婦人科学会総会ならびに学術講演会延期のお知らせを掲載しました。

2020年00月00日

第73回中国四国産科婦人科学会総会ならびに学術講演会のご案内を掲載しました。

2020年00月00日

第72回中国四国産科婦人科学会評議委員会議事録を掲載しました。

2020年00月00日

第72回中国四国産科婦人科学会総会ならびに学術講演会のご案内を掲載しました。

2020年00月00日

News

最新情報

サイトリニューアルしました。

2020年00月00日

「機関紙バックナンバー」に、現代産婦人科の vol.68 no.2 を掲載しました。

2020年00月00日

「機関紙バックナンバー」に、現代産婦人科の vol.68 no.1 を掲載しました。

2020年00月00日

「機関紙バックナンバー」に、現代産婦人科の vol.68 Supplement を掲載しました。

2020年00月00日

[ピックアップ情報一覧](#)

[最新情報一覧](#)



中国四国産科婦人科学会事務局

〒700-8558
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学医学部産科・婦人科学教室内
中国四国産科婦人科学会 事務局
TEL.086-235-7320
FAX.086-225-9570
E-mail : obgyn@cc.okayama-u.ac.jp

概要

沿革
会則
評議員会議事録

役員名・委員会

役員
委員会委員長
評議員
名誉会員

開催地のご案内

開催地のご案内
中国・四国産婦人科集談会
第1回～第36回
第37回～第72回
学会賞受賞者一覧

入会案内

入会案内
各県事務局

現代産婦人科

オンライン投稿システム
投稿規定
論文掲載
機関紙バックナンバー

中国四国産科婦人科学会々則

(会 則)

- 第1条 本会は中国四国産科婦人科学会と称す。
- 第2条 本会は中国四国9県の産科婦人科学会より構成され、各県産科婦人科学会々員は本会々員となる。
- 第3条 本会は産婦人科学の進歩発展に寄与し、併せて会員の親睦をはかることを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- 1) 学術集会の開催。
 - 2) 機関誌の発行。
 - 3) 優秀論文の顕彰。
 - 4) その他必要事業。
- 第5条 本会に次の役員を置く。
- 1) 評議員 若干名
日本産科婦人科学会規約に依り選出された代議員は、そのまま本会の評議員となる。
 - 2) 理 事 若干名
各県の地方部長および大学医学科の産科婦人科領域の教授を理事とする。
 - 3) 会 長 1名
学術集会開催地の理事の中の1名がこれに当る。
 - 4) 監 事 2名
評議員会で選出され、会務を監査する。
 - 5) 幹 事 2名
事務所に1名、開催地に1名とし会長がこれを任命する。これら役員任期は特に規定されたもの他は、1ヵ年とする。但し、重任を妨げない。
- 第6条 本会に名誉会員を置くことができる。
- 第7条 本会の運営は評議員会の審議を経て理事会がこれに当る。
- 第8条 本会の運営に必要な経費は会員数に応じて各県産科婦人科学会の分担とする。但し、学術集会に必要な経費については、他に参加費を徴収するものとする。学生・初期研修医からは参加費を徴収しない。
- 第9条 本会則の改定は評議員会の議を経て総会に報告するものとする。
- 第10条 本会の事務所は当分の間
〒700-8558岡山市北区鹿田町2-5-1
岡山大学医学部産科婦人科学教室内に置く。

改定 昭和49. 10. 27
改定 昭和56. 10. 10
改定 平成21. 9. 27
改訂 平成22. 9. 19
改訂 令和元. 9. 22

(内 規)

- 第1条 機関誌の発行
- 1) 機関誌「現代産婦人科」の発行は毎年2回行う。(2月と7月)
 - 2) 編集は本会事務局において行う。
 - 3) 刊行費は運営費によってまかなわれる。
 - 4) 機関誌は各地方部会を通じて会員に配布される。
 - 5) 原著掲載料として組上り6頁を越える印刷代及び30部を越える別刷代は著者の負担となる。
 - 6) 投稿規程は別に定める。
- 第2条 本会の運営
本会は運営の円滑化を計るため、理事会の諮問機関として次の委員会を組織する。
- (1) 委員会の種類
 - 1) 運営委員会
委員会の設置改廃、日本産科婦人科学会、各県産科婦人科学会、産婦人科医会との連絡、その他本会の運営に必要な事項。
 - 2) 学術委員会
学術集会に関すること。特に学術集会に関する年次計画の作成、特別講演、シンポジウムの主題の選択ならびに担当者の選定、学会賞(八木賞)候補の推薦、公募臨床研究の選定。
 - 3) 編集委員会
編集方針の検討立案その他機関誌発行に必要な事項。
 - 4) 財務委員会
本会の予算、決算に関する事項。
 - (2) 委員会の構成
委員会委員は原則として、評議員をあて理事会で選考されるが必要により理事会の推薦するものを加えることができる。委員長は理事の互選により選出される。但し運営委員会は、会長を委員長とし、前期並びに次期会長を副委員長とする。委員会委員の任期は1ヵ年とし、重任を妨げない。各委員会の定数は次の通りとする。
運営委員会 若干名
学術委員会 若干名
編集委員会 若干名
財務委員会 若干名
※定数は理事会において検討
 - (3) 委員会の運営
委員会は年1回総会開催時に行われる。委員長は必要により臨時委員会を招集しあるいは通信委員

会により、協議することができる。

第3条 学会賞（八木賞）の選定

- 1) 学会賞受賞の対象となる論文は過去2年間に本学会機関誌「現代産婦人科」、The Journal of Obstetrics and Gynecology Research, あるいはピアレビュー制度のある雑誌に印刷、公表されたもので、かつ論文内容が中国四国産科婦人科学会で既に発表されたものとする。
また、応募者は関連論文5編以内と履歴書を添付する。
- 2) 学会賞に応募、又は推薦を希望するものは本学会々員に限る。
- 3) 論文は単著、共著を問わない。但し共著の場合、受賞対象者は筆頭著者1名に限る。
- 4) 審査は学術委員会がこれに当たるが、応募論文題目は全評議員に公示されるものとする。
- 5) 応募者は論文別冊の指定部数を本学会総会開催1ヵ月前までに本会事務所に送付する。
- 6) 学会賞受賞者数は原則として1名とする。受賞者には賞状及び賞牌を授与する。
- 7) 学会賞受賞者には、次回の本学会学術講演会において受賞論文の内容について講演する機会を与える。

第4条 中国四国産科婦人科学会名誉会員の選出

- 1) 本学会に対し特に功績のあった会員を名誉会員として顕彰することができる。
- 2) 各県産科婦人科学会より理事会に申請され、理事会がこれを審議する。そして評議員会と総会

で報告する。長らく各県産科婦人科学会の発展に功労のあった会員がその対象となる。

- 3) 日本産科婦人科学会名誉会員および功労会員は合同地方部会名誉会員となる。
- 4) 名誉会員の会費は徴収しない。
- 5) 名誉会員には、名誉会員証を贈る。

第5条 運営費は当分の間、会員1人当たり年間5,000円として各県産科婦人科学会毎にとりまとめ、毎年9月までに本会事務所に納入する。本会の会計年度は7月1日より翌年6月30日とする。

第6条 本内規の改変は評議員会の議を経なければならない。

改定 昭和49. 10. 27

改定 昭和50. 10. 19

改定 昭和53. 10. 22

改定 昭和57. 10. 2

改定 平成3. 9. 28

改定 平成5. 10. 23

改定 平成8. 10. 5

改定 平成10. 10. 17

改定 平成15. 9. 19

改定 平成18. 10. 8

改定 平成21. 9. 17

改訂 平成22. 9. 19

改訂 平成29. 9. 24

改訂 令和元. 9. 22

学術論文投稿規程

■名称について

中国四国産科婦人科学会機関誌は「現代産婦人科」。英文名はModern Trends in Obstetrics & Gynecology, 略号はMod Trends Obstet Gynecolとする。

■投稿について

1. 本誌に投稿するものは、共著者を含め原則として本会の会員に限る。
非会員の医師名を掲載する場合は、単年度会費を事務局に納入する。
学生、初期研修医名を掲載する場合はこの限りでなく、単年度会費を徴収しない。
2. 本誌は年3回発刊し、第1号のメ切は6月30日、第2号のメ切は12月25日とする。なお、Supplementは学会抄録集とする。
3. 本誌に投稿した論文の著作権は中国四国産科婦人科学会に所属する。
4. 論文の種類は原著、症例報告とする。総説、診療指針、内外文献紹介、学会関連記事、座談会記事等は編集委員会が承認したもの、あるいは依頼したものとする。
5. 論文は他紙に未発表のもので、それ自身で完結していなければならない。続報形式のものは認めない。
6. 論文は和文とし、欧文は受け付けない。ただし、図表はこの限りでない。
7. (第68巻第2号まで)
オリジナル原稿1部、コピー(図表も含む)3部、保存CD、およびチェックリストを提出する。CDには筆頭著者名、使用コンピュータ(Windows, Macintosh)、使用ソフト名を記載する。なお提出された原稿およびCDは返却しない。
(第69巻第1号以降)
投稿の方法は電子投稿に限る。オンライン投稿・査読システム(HPアドレス[準備中])にアクセスし、必須事項を入力の上、表示される指示に従って投稿すること。
8. 本誌は査読制を敷く。原稿の採否は査読者の意見を参考にして、編集委員長が決定し、事務局から通知する。編集方針に従って、原稿の加筆、修正をお願いすることがある。
9. 採録された論文は順次掲載される。掲載料は組上り6頁(概要、本文、図表、写真、文献を含む)までは、1万円とする。6頁を越える部分の印刷に要する費用、カラー印刷にかかる費用は著者に別途請求する。
10. 別冊30部は無料とする。30部を越える別冊については送料を含め全額著者負担とする。これらの費用は論文が掲載された時点で徴収する。

■論文の書き方

1. 原稿の長さは文献、図表も含め8,000字以内とする。なお表題、概要、英文抄録は字数に含めない。図表は1点400字で換算する。
その他の原稿の長さは編集委員会の指示に従う。
2. 文字原稿の作成は、A4版横書きで、Microsoft Wordを使用すること。
査読のため各頁下に頁数、各頁左端に行番号を付けること。

3. 論文の記述の順序は,
 - 1 頁目：表題，所属，著者名（それぞれ英文も併記），筆頭著者の連絡先（所属施設，住所，電話，FAX番号，メールアドレス）
 - 2 頁目：概要（800字以内）とキーワード（日本語5つ以内，英語5つ以内）
 - 3 頁目：英文抄録200単語以内（double spaceで入力のこと）
 - 4 頁目以降に【原著論文】緒言，方法，成績，考案，文献，図表の順に，【症例報告】緒言，症例，考案，文献，図表の順に記載する。論文中には図表の引用箇所を明示する。
4. 図表はMicrosoft Excel，Power Pointを用いて作成し，1枚ずつに分けて番号を付ける。タイトルおよび説明文を記載すること。光顕写真には撮影倍率もしくはスケールを入れること。なお学会発表に用いたPower Pointをそのまま使用せず，投稿に適した形に修正すること。また，他雑誌からの図表を引用する場合は，著者の責任で使用許諾をとっておくこと。
5. 単位，記号はm, cm, mm, g, mg, μ g, l, ml, $^{\circ}$ C, pH, N, M, Ci, mCi, μ Ciなどとする。
6. 英語のつづりは米国式とする（例：center, estrogen, gynecology）。
外国の人名，地名は原語のまま記載する。
7. 学術用語は日本産科婦人科学科用語集および日本医学会の用語集に従う。
8. 投稿にあたり，個人情報の取扱いは「個人情報保護法」を遵守すること。特に遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う症例の報告では，「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省，平成20年12月1日改正）を遵守すること。なお症例について記載する時には，プライバシー保護の観点から，必要最小限の情報のみを記載する（来院日や手術日などの具体的な記載はせず，第3病日，X+3年後といった記述にする。摘出標本，病理組織，画像の中に含まれる日時，個人を特定できる番号などは削除する）。また，対象となる個人からは同意を得ておくことが望ましい。
9. 臨床研究や治験に関する論文，ガイドラインに記載されていない診療方針を含む症例報告は，インフォームド・コンセントを得た旨および所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会の承認を得た旨を記載すること。なお，編集委員会よりその証明を請求する場合がある。

■利益相反について

1. 論文について開示すべき利益相反状態があるときは，投稿時にその内容を明記する。利益相反状態の有無の基準は，日本産科婦人科学会の「利益相反に関する指針」運用細則による。
2. 特定の医薬品・医療機器の使用経験などに関する論文の場合には，利益相反に関する記載が必要である。

■文献記載について

1. 文献の引用は論文に直接関係あるものにとどめ，文献番号は本文に現れた順に1, 2, 3…と付ける。
2. 本文中では引用部位の右肩に文献番号1) 2) …をつける。なお著者名を記載する場合，2名以上の際には「山川ら」（和文），「Harris et al.」（英文）と略す。
3. 文献は著者名全員と論文の表題を入れ，次のように正確に記載する。和文誌の雑誌名は医学中央雑誌収集誌目録略名表（医学中央雑誌刊行会編）に，欧文誌はIndex Medicusによる。

例【学術雑誌】著者名（全員）. 表題. 雑誌名 発行年（西暦）；巻：頁-頁.

新井太郎, 谷村二郎. 月経異常の臨床的研究. 日産婦誌 1976；28：865-871.

Langer O, Berkus MD, Huff RW, Samueloff A. Shoulder dystocia should the fetus weighing greater than or equal to 4000 grams be delivered by cesarean section? Am J Obstet Gynecol 1991; 165: 831-837.

例【書籍（一般）】著者名[, 編者名]. 書名[, 版数]. 発行地：発行所, 発行年（西暦）[；引用頁-頁].

遠藤幸三. 実地婦人科手術 改訂第2版. 東京：金原出版, 1982.

Rock JA, Thompson JD (eds) Telende's Operative Gynecology, 8th edn. Philadelphia: Lippincott-Raven, 1996.

例【書籍（分担執筆）】著者名. 表題. 編者名. 書名[, 版数]. 発行地：発行所, 発行年（西暦）；引用頁-頁.

岡本三郎. 子宮頸癌の手術. 塚本 治編. 現代産婦人科学II. 東京：神田書店, 1975；162-180.

Hoffman MS, Cavanagh D. Malignancies of the vulva. In: Thompson JD and Rock JA (eds) TeLinde's Operative Gynecology, 8th edn. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins, 1997; 1331-1384.

例【ウェブサイト(Website)】著者名. 表題. ウェブサイト名. 発表年(西暦), ウェブサイトのURL. [確認した日付.]

政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室. 人口動態調査. 厚生労働省. 2019, <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>. [2019.09.01.]

Committee on Publication Ethics. What to do if you suspect plagiarism: (a) Suspected plagiarism in a submitted manuscript. Available at: <https://publicationethics.org/files/plagiarism%20A.pdf>. [2019.09.01.]

■査読・校正について

(第68巻第2号まで)

1. 編集委員会からの査読結果, 意見を筆頭著者にメールで返信する。
2. 投稿者は編集委員会の意見に対し, ①どのように修正したかの回答書, ②修正部を赤字あるいは下線で明記した修正原稿のプリントアウト, ③それらを保存したCDを事務局に指定期限以内に再提出する。

(第69巻第1号以降)

1. 編集委員会からの査読結果に対して, 筆頭著者はオンライン投稿・査読システム上で回答する。
2. 著者は編集委員会の意見に対し, ①どのように修正したかの回答書, ②修正部を赤字あるいは下線で明記した修正原稿を指定期限以内に再提出する。
3. 掲載論文は初校のみ著者校正とする。ただし組版面積に影響を与えるような改変や極端な組み替えは許されない。
4. 英文表題および抄録は, 事務局で一括してネイティブチェックを依頼し, 初校の際に著者が校正する。ネイティブチェックの費用は著者に別途請求する。ただし著者が独自にネイティブチェックを依頼することを妨げないので申し出ること。

■罰則規定について

本誌はねつ造，二重投稿，剽窃・盗用などの不正行為を禁止する。発覚した場合は，採録を取消し，筆頭著者・共著者は，その後3年間投稿禁止とする。

■転載許諾について

1. 本誌に掲載された図表の，他誌への転載を希望する場合には，別紙の「転載許諾のお願い」に記載し，切手を貼付した返信用封筒を同封の上，当編集委員会事務局宛に郵送する。なお「転載許諾のお願い」の書式は，中国四国産科婦人科学会のホームページからもダウンロード可能である。
2. 転載の可否は，編集委員長が決定する。承諾の場合には，転載許諾印を押し返却する。
3. 転載の際には，掲載を予定する書籍にその出典を明示する必要がある。

■原稿送付先・お問い合わせ

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学医学部産科・婦人科学教室内
「現代産婦人科」編集委員会事務局
Tel 086-235-7320 Fax 086-225-9570
e-mail obgyn@cc.okayama-u.ac.jp

編集委員会

編集委員長：増山 寿

編集委員：苛原 稔，杉野 法広，鎌田 泰彦

昭和61年10月18日改定
平成14年9月28日改定
平成15年9月28日改定
平成17年10月16日改定
平成18年10月8日改定
平成24年9月23日改定
平成26年9月14日改定
平成27年9月6日改定
令和元年9月22日改訂

2020年8月

公益社団法人 日本産科婦人科学会代議員氏名

平成31年1月改選(令和2年7月1日現在)

中 国 (21名)

鳥 取 : 谷口 文紀, 原田 省

島 根 : 金崎 春彦, 京 哲

岡 山 : 鎌田 泰彦, 下屋浩一郎, 中塚 幹也, 中村圭一郎, 長谷川雅明, 増山 寿

広 島 : 伊達健二郎, 土谷 治子, 中西 慶喜, 平田 英司, 三好 博史, 村上 朋弘, 山本 暖

山 口 : 竹谷 俊明, 田村 博史, 沼 文隆, 藤野 俊夫

四 国 (12名)

徳 島 : 春名 充, 前川 正彦, 安井 敏之

香 川 : 金西 賢治, 田中 宏和, 藤田 卓男

愛 媛 : 杉山 隆, 松原 圭一, 矢野 浩史, 横山 幹文

高 知 : 泉谷 知明, 坂本 康紀